

日本電波工業株式会社

第 82 期中間報告書

(2022年 4 月 1 日～2022年 9 月30日)



株主の皆様へ



代表取締役会長
竹内敏晃

株主の皆様には、日頃より、格別のご厚情を賜り、厚く御礼申し上げます。
ここに第82期第2四半期連結累計期間（2022年4月1日～2022年9月30日）の事業の概況と決算の状況をご報告申し上げます。

当第2四半期連結累計期間における世界経済は、エネルギーや食料などの価格高騰により世界的にインフレが進行し、インフレに対処するため欧米では利上げを進めております。また、中国では新型コロナウイルスの封じ込めを狙う「ゼロコロナ」政策が景気回復の足かせとなっており、世界景気の先行き不透明感が高まっております。

当社の主力事業領域である自動車やスマホ市場では、中国においてはスマホの需要減退が継続しました。一方、中国の「ゼロコロナ」政策により上海では5月末までの2か月間、都市封鎖による物流の混乱の影響を受けましたが、その後、状況は改善いたしました。また、9月には世界最大手スマホメーカーの新モデル

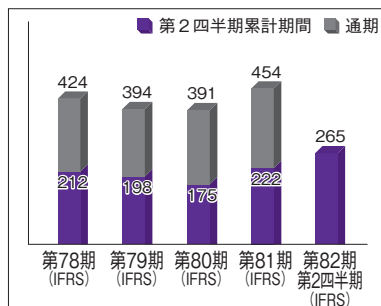
の出荷が開始されました。

このような状況下、当社売上高の約半分を占める車載向けでは、当第2四半期（7～9月）のTier 1 メーカー（完成車メーカーに部品を供給するメーカー）からの受注金額は、第1四半期（4～6月）から概ね横ばいで推移し

財務ハイライト（連結）

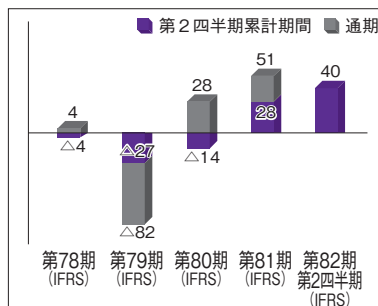
・売上高

（単位：億円）



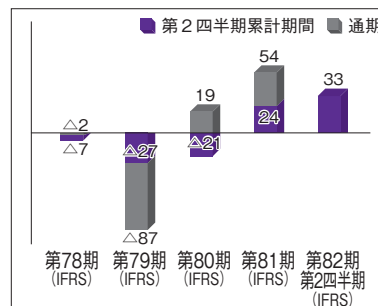
・営業利益

（単位：億円）



・当期利益

（単位：億円）



ました。販売面では上海の都市封鎖による物流混乱の影響がありましたが、当第2四半期連結累計期間の売上高は前年同四半期比2割強増加いたしました。売上高の約2割を占める移動体通信向けは、中華系スマホメーカーでの需要減の影響を受けましたが、ハイエンドスマホ向けで76.8MHzサーミスタ内蔵水晶振動子や超小型水晶振動子の販売が伸びたため、売上高は前年同四半期比で増加しました。売上高の約1割を占める産業機器向けは、データセンター向けで水晶発振器の売上高が前年同四半期比増加しました。この他、IoT、FA関連向けの売上高が前年同四半期比増加しました。また、為替が前年同四半期比大きく円安水準で推移した影響で約2,300百万円の増収要因となりました。

以上により、当第2四半期連結累計期間の売上高は26,501百万円（前年同四半期は22,267百万円、19.0%増）となりました。

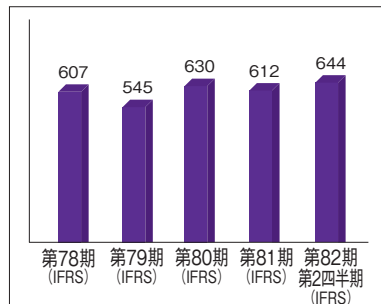
利益につきましては、当第2四半期連結累計期間の営業利益は4,041百万円（前年同四半期は2,839百万円、42.3%増）、税引前四半期利益は3,927百万円（前年同四半期は2,601百万円、50.9%増）、四半期利益は3,352百万円（前年同四半期は2,430百万円、37.9%増）となりました。

株主の皆様におかれましては、今後とも何とぞ格別のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

2022年12月

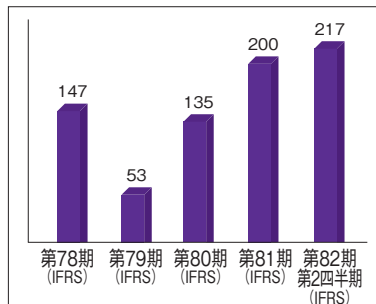
・資産合計

(単位：億円)



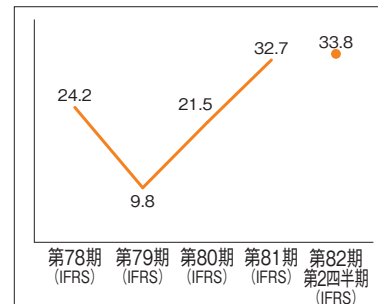
・資本合計

(単位：億円)



・自己資本比率

(単位：%)



NDKの事業領域

通信インフラ

NDKの製品・技術は、通信ネットワークインフラの構築にも貢献しています。NDKには、各世代におけるインフラ構築を支えてきた実績があり、現在進展しつつある5Gの基地局ネットワークシステムに対しても、さまざまな水晶デバイスを供給し、基地局の大容量で安定した通信を支えています。5Gのネットワーク整備は、今後さらなる拡大が予測されますが、NDKは既に次世代の通信である6Gを見据えた技術・製品開発にも着手しています。

スマートフォン

NDKの製品・技術は、スマートフォンなどエレクトロニクス製品の正常な稼働にも貢献しています。モバイル通信が5Gに移行し、通信が高速化する中で、水晶デバイスにもより高度な性能が求められるようになりました。NDKは、これまでに培った設計ノウハウと独自の技術を活かし、5G通信での高い要求に応えた小型かつ高周波の水晶デバイスを開発しました。その信頼性は多くの顧客に支持され、さらなる需要拡大につながっています。

テクノロジーを支える

鼓動

宇宙

人類の夢を乗せて宇宙へ飛び立つ人工衛星の内側でもNDKの水晶デバイスは活躍しています。打ち上げの衝撃・振動、激しい熱変動、高レベルの放射線など、宇宙空間では極めて過酷な状況下で性能を発揮することが求められます。JAXA（宇宙航空研究開発機構）から国内唯一の水晶振動子認定メーカーに指定されていることは、NDKの水晶デバイスの性能が評価されていることを証明するものと言えるでしょう。



自動車

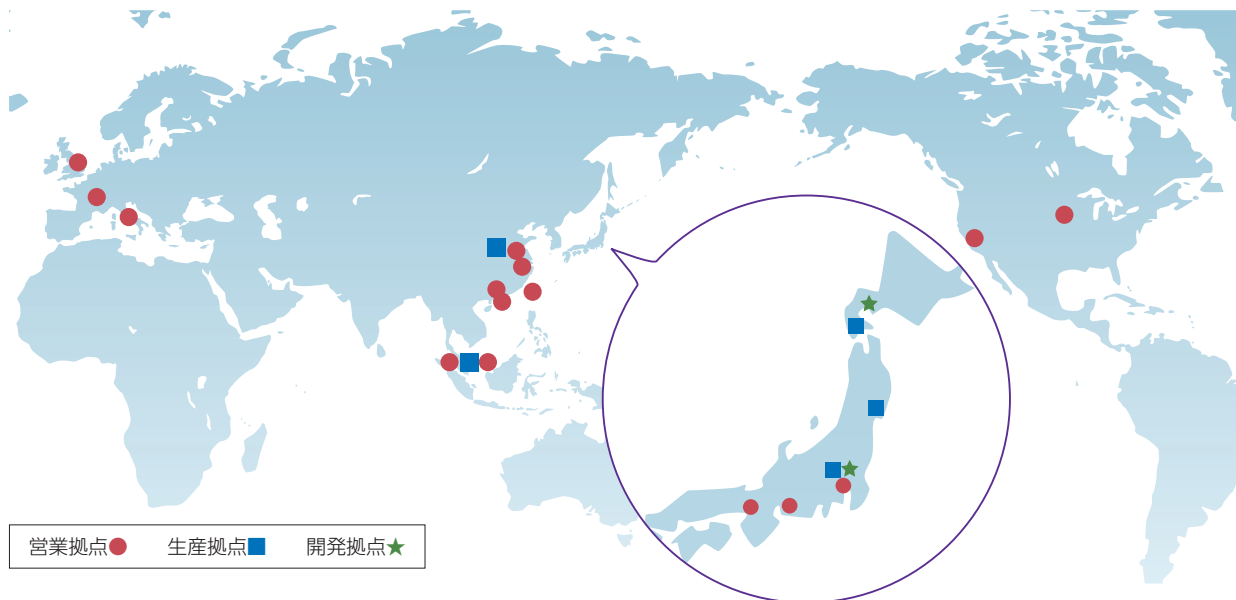
NDKの製品・技術は、エンジンやブレーキ、エアバッグの制御など自動車の安全性に貢献するほか、スピードメーターやカーオーディオ、TPMS（タイヤ空気圧監視システム）、キーレスエントリーシステムにも採用されています。さらには、次世代の自動車のカギとなるADASや自動運転に貢献する領域に広がっており、そのポテンシャルは計り知れません。



ヘルスケア

医療・ヘルスケア分野における無線機器のニーズの拡大に伴い、NDKの水晶デバイスの活躍の場が広がっています。命を預かる重要な役割を担うため、品質の高さが大きな強みになっているのです。水晶デバイス以外にも、NDKは、1970年代から、人体内部を観察する超音波診断装置において、センサの役割を担う超音波プローブを開発・提供しています。

NDKグループネットワーク



事業所及び営業所

- 本社事務所（東京都渋谷区）
- 関西営業所（大阪府大阪市）
- 中部営業所（愛知県岡崎市）
- ★ 狭山事業所（埼玉県狭山市）
- ★ 千歳テクニカルセンター（北海道千歳市）

国内関係会社

（国内生産拠点）

- 古川エヌ・デー・ケー株式会社（宮城県大崎市）
- 函館エヌ・デー・ケー株式会社（北海道函館市）

海外関係会社

（海外営業拠点）

- NDK AMERICA, INC.（アメリカ・イリノイ州）
- SILICON VALLEY OFFICE（アメリカ・カリフォルニア州）
- NDK America, Inc. Orange County Office（アメリカ・カリフォルニア州）
- NDK EUROPE LTD.（イギリス・ロンドン）
- NDK EUROPE LTD. FRENCH OFFICE（フランス・パリ）
- NDK EUROPE LTD. ITALY OFFICE（イタリア・ミラノ）
- NDK CRYSTAL ASIA PTE. LTD.（シンガポール）
- 日本電波工業（香港）有限公司（中国・香港）
- 香港商日電波有限公司台北分公司（台湾・台北）
- 日電波水晶（上海）貿易有限公司（中国・上海）
- 日電波水晶（上海）貿易有限公司深圳分公司（中国・深圳）
- 蘇州日電波電子工業有限公司営業部（中国・蘇州）
- 蘇州日電波工業貿易有限公司（中国・蘇州）
- ASIAN NDK CRYSTAL SDN.BHD. SALES DEPT.（マレーシア・セランゴール州）

（海外生産拠点）

- ASIAN NDK CRYSTAL SDN. BHD.（マレーシア・セランゴール州）
- NDK QUARTZ MALAYSIA SDN. BHD.（マレーシア・セランゴール州）
- 蘇州日電波電子工業有限公司（中国・蘇州）

中間配当に関するお知らせ

2022年11月8日開催の当社取締役会において、第82期（2022年4月1日から2023年3月31日まで）中間配当に関し、下記のとおり決議されましたのでお知らせいたします。

記

当社定款の規定に基づき、2022年9月30日を基準日として、次のとおり中間配当金を支払う。

- | | |
|--------------------------|-------------|
| 1. 中間配当金 | 1株につき10円 |
| 2. 中間配当の効力発生日
(支払開始日) | 2022年12月12日 |

以 上

◎中間配当金のお支払いについて

第82期の中間配当金は、同封の「中間配当金領収証」により、払渡期間内（2022年12月12日～2023年1月13日）に、お近くの「ゆうちょ銀行」または「郵便局」でお受け取りくださいますようお願い申しあげます。

また、銀行振込をご指定の方には、「中間配当金計算書」及び「お振込先について」を、株式数比例配分方式をご指定の方には、「中間配当金計算書」及び「配当金のお受け取り方法について」を同封いたしましたので、ご確認ください。

◎Information

当社ホームページを リニューアルしました

当社WEBサイトでは最新のトピックス、詳細なIR情報などがご覧いただけます。水晶の特性や水晶デバイスの役割等を説明した「水晶の世界」という特設ページもございます。ぜひご覧ください。

NDK 検索

<https://www.ndk.com/jp>



● 製品情報



● 投資家の皆様へ



<https://www.ndk.com/jp/ir>

会社の概要 (2022年9月30日現在)

商 号 日本電波工業株式会社

英 文 社 名 NIHON DEMPA KOGYO CO., LTD.

設 立 1948年4月15日

資 本 金 55億円

従 業 員 682名

主 要 製 品 産業用水晶振動子、民生用水晶振動子、水晶発振器、水晶フィルタ、信号発生器、周波数シンセサイザ、超音波探触子、人工水晶、光学用デバイス、QCMセンサ

役員 (2022年9月30日現在)

会社における地位	氏 名
代表取締役会長	竹 内 敏 晃
代表取締役社長	加 藤 啓 美
取締役常務執行役員	上 木 健 一
取締役常務執行役員	及 川 英 之
取締役常務執行役員	菅 原 賢 一
取締役常務執行役員	竹 内 謙
社 外 取 締 役	立 光 武 彦
社 外 取 締 役	諏 訪 頼 久
常 勤 監 査 役	坂 入 夏 彦
監 査 役	吉 利 誠
監 査 役	安 樂 恒 樹

株 主 メ モ

事 業 年 度 毎年4月1日から翌年3月31日まで

定時株主総会 毎年6月

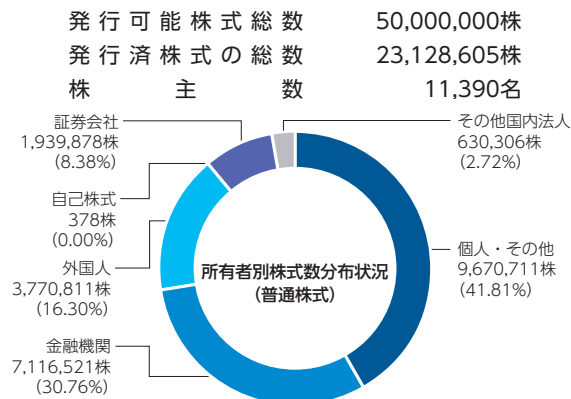
基 準 日 定時株主総会・期末配当金 3月31日
中間配当金 9月30日

単 元 株 式 数 100株

公 告 方 法 電子公告（予備的公告方法は日本経済新聞）

公 告 掲 載 URL <https://www.ndk.com/ir>

株式の状況 (2022年9月30日現在)



大株主の状況 (2022年9月30日現在)

株 主 名	持株数	持株比率
日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (信託口)	3,402千株	14.71%
株式会社日本カストディ銀行 (信託口)	991千株	4.28%
野村証券株式会社自己振替口	750千株	3.24%
株式会社りそな銀行	667千株	2.88%
竹 内 敏 晃	623千株	2.69%
株式会社埼玉りそな銀行	610千株	2.63%
S I X S I S L T D .	600千株	2.59%
MSCO CUSTOMER SECURITIES	555千株	2.40%
竹 内 寛	528千株	2.28%
丸三証券株式会社	325千株	1.40%

注) 自己株式につきましては、上記大株主からは除外しております。また、持株比率は、発行済株式総数から自己株式の数を控除して算出しております。

株主名簿管理人 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
三井住友信託銀行株式会社

郵便物送付先 〒168-0063
東京都杉並区和泉二丁目8番4号
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部

(電話照会先) 電 話 0120-782-031 (フリーダイヤル)

上場証券取引所 東京証券取引所プライム市場

証 券 コ ー ド 6779